

わかくさ

学 校 通 信
青梅市立若草小学校
令和5年10月31日
第820号

ダイヤモンド

副校長 宮部 吉一

さわやかな秋の風が心地よい季節になりました。先日の運動会には、ご来賓の皆様をはじめ、ご家族、地域の皆様にも多数ご来校いただき、誠にありがとうございました。「努力！協力！全力」という運動会のテーマのもと、全ての学年で、最高の運動会を目指して最後まで努力し、協力して演技や競技に全力で取り組む姿が見られました。競技に真剣な表情で集中して取り組む子供たちの姿は、とても輝いていて、たくさんの感動を与えてくれました。また、係活動での責任感にあふれた高学年の子供たちの姿から、確かな成長を感じることができました。

さて、この世で最も硬い鉱物は何でしょう？それは、皆様もご存知の通り、「ダイヤモンド」です。「ダイヤモンド」は、黒い炭と同じ炭素でできていますが、見た目は、全く異なり、光り輝く様子は、これまで有史以来、多くの人を魅了してきました。しかし「ダイヤモンド」は、初めから輝いているわけではありません。鉱山から取り出されたばかりの「ダイヤモンド」の原石は、おせじにも美しいとは言えません。(もちろん例外はありますが・・・)そのダイヤモンドの原石に職人がカットを加え、一生懸命に磨くことで、光輝くようになります。しかし、このダイヤモンドは、世の中で最も硬い鉱物だと言われています。鋼鉄製のやすりでは、歯が立ちません。では、何で磨くのでしょうか？それは「ダイヤモンド」で磨きます。この世で最も硬いダイヤモンドは、そのダイヤモンド自身でなければ磨くことができないのです。

それは、人間もまた同じではないでしょうか？私たち人間も人間の中で磨かれてはじめて光り輝くのだと思います。だからこそ、人と接したり、触れ合ったりすることが大切です。

運動会当日はもちろん、これまでの練習を行う過程において、表現の仕方を下級生にやさしく教える上級生の姿やできない演技に挑戦する友達を励ます姿など、光り輝く場面がたくさん見られました。こうした人間同士の触れ合いこそが、さらにお互いの心を磨き、思いやりや協力の姿勢をもつ人間になっていくのだと思います。

もちろん、人と関わる場面では良いことばかりではありません。人が集まれば、もめごとが起きたり、場合によっては、いじめのような許されないことが起きてしまったりすることもあります。そんな時、学校では、子供を立ち止らせ、「どうすればよかったのか」「これから何に注意すればよいのか」などと考えさせ、解決に向かわせます。もめごとなどない方がよいに決まっていますが、もし、トラブルが起きてしまったとき、それを教育の場として、磨き合う機会にしていくことが大切であると考えています。

これからも、様々な活動を通して、「心の磨き合い」を大切にしつつ、もっともっと高みを目指して努力し挑戦するたくましい子供の育成に努めてまいります。